

# 八木健の川アート

69

複数の出来事の共通項を見つける  
某歌舞伎俳優が巻き起こした騒動と、某官房長官が問責決議されたことに共通するものは、「口は災いの元」という諺にある。この原因は、頂点に立つ者の「奢り」である。

舌が災い政界&芸能界



舌が災い政界&芸能界

今月の八木健

特選

選者・川柳アート 八木健

〔月刊川柳総合誌「川柳マガジン」元選者〕



海老蔵のにらみが利かぬ夜の酒房

金子 亶

金子 亶 (東温市)

海老蔵のにらみが利かぬ夜の酒房

この発端はどうあれ、「にらみ」が利かなくなったらしい。夜の酒場は暗いので、どこをにらんでいるのか分からない。「俺は人間国宝」などと経歴詐称するから、歌舞伎界の大物ににらまれる。今後の得意技は「にらみ」ではなく「にらまれ」としませんか。

佳作

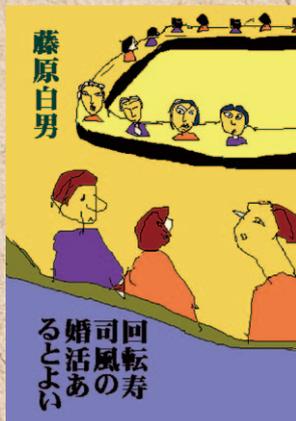


古野セキエ

耳たぶが嫌がる老いのイヤリング

古野セキエ (松山市)

耳たぶが嫌がる老いのイヤリング  
俳句は自分を組上(くみあがり)に載せる。川柳は自分以外の誰かをネタにする。しかし、この句の発端は自身の体験かもしれない。ならば、それは「自嘲」である。その自嘲を一般論として書けば、川柳となる。



藤原白男

回転寿司風の婚活あるとよい

藤原 白男 (今治市)

回転寿司風の婚活あるとよい

「らっしやい！お客さん。新鮮なのが入荷してまっせ」と板さんが煽るから、客もその気になる。「息子の嫁にはコレ、隣の娘にはこのオトコがええ」「お客さん、醤油つけないでくださいよ」



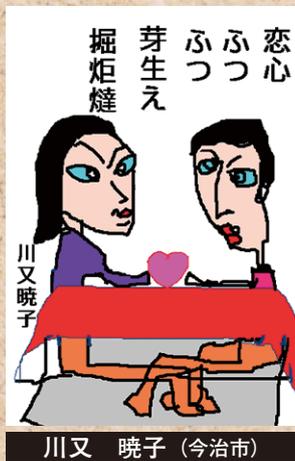
抽選日まで夢を見させる宝くじ

城導寺しん

城導寺しん (八幡浜市)

抽選日まで夢を見させる宝くじ

「宝くじ」だけだ。当たれば、マイホームも新車も嫁さんも手に入る。宝くじは購入してほしくなく抽選日となるが、抽選の一年前に発売すれば夢の時間が長くなると思うがどうだろうか。なぬ？買ったこと忘れるだど？



恋心ふつつ芽生え 堀炬燵

川又 暁子

川又 暁子 (今治市)

恋心ふつつ芽生え堀炬燵

最近の若者は脚が長い。だからどうしても接触してしまう。カップル誕生となる。だから堀炬燵は婚活に活用したらよい。成立したら「新婚さんいらっしやい」に出演。「ワタクシ水虫をウツサレました」などと。



大型店運動不足解消に

石原康正

石原 康正 (松山市)

大型店運動不足解消に

「最近の郊外型大型店は、駐車場も店内も広いから、売場にたどりつくまでに疲れる。ただし、運動不足の解消にはなる」と作者のコメント。なるほど分かりますが、商店街もたまには歩いてください。こちらも歩くだけでも運動不足の解消になりますよ。

古今の名句



どちらにも興味があつて露天風呂 鈴木南水

鈴木 南水

どちらにも興味があつて露天風呂

男は女に、女は男に興味がある。だから露天風呂ということである。男湯女湯の区別ができたのは明治になってから。江戸時代の銭湯は男女混浴で極楽でした。というわけで、その風習を伝える秘湯巡りが流行るのである。(『ユーモア川柳傑作大辞典』より)

本コーナーが 待望の単行本化 好評発売中!!



「八木健の川柳アート」では、川柳を募集しています。テーマは自由。未発表のオリジナル作品に限ります。採用された作品には八木さんが「川柳アート」を作り、本誌に掲載の上、採用者にプレゼントいたします。応募方法は36ページをご覧ください。